

令和4年6月16日会議概要

第1 日時

令和4年6月16日（木）午前9時20分から午前11時10分までの間

第2 出席者

森委員長、森田委員、増田委員、平林委員、在田委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、京都市警察部長、情報通信部長等

《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 委員報告

(1) 科学捜査研究所視察（6月9日）

委員から、「令和4年6月9日、科学捜査研究所を視察した。所長等から、三次元顔画像鑑定、ポリグラフ検査及び不明文字鑑定について、実演を交えて説明を受けた。8年前にも視察したが、鑑定技術が日進月歩で進歩・高度化しているのを感じた。科学捜査は、犯罪の立証にとっても重要なものであり、更なる技術の向上、人材育成、他機関との連携を進めていただきたい。」旨、報告があった。

(2) 留置施設視察委員会委員任命書交付式（6月13日）

委員から、「令和4年6月13日、留置施設視察委員会委員任命書交付式に出席した。留置管理業務に関しては、警察業務の中でも特に透明性、公正が保たれていなければならない、改めて公安委員会として、第三者委員会である留置施設視察委員を任命する意義を強く認識した。」旨、報告があった。

2 議題

(1) 少年非行防止学生ボランティア「KYO-SOLEIL」に対する委嘱状の交付について

生活安全部長から、令和4年6月27日及び同月28日、非行少年の立ち直り支援等少年の健全育成に向けた活動を効果的に推進することを目的に結成された少年非行防止学生ボランティア「KYO-SOLEIL」に対する委嘱状交付式を実施する旨、報告があった。

委員から、「どのような少年を支援対象としているのか。」旨、質問があり、生活安全部長から、「警察が取り扱った少年等の中で、保護者から支援要請を受けた8歳から18歳までの少年が現在支援対象となっている。支援する中で、大半の少年が進学や就職する等、一定の成果を上げている。」旨、回答があった。

他の委員から、「学生ボランティアは、どのように募集しているのか。」旨、質問があり、生活安全部長から、「当府警察のホームページで広く募集しているほか、先輩学生の推薦等により、将来的に教職、心理職、児童福祉職等の道を希望する学生等が募集に応じている。」旨、回答があった。

更に他の委員から、「教育現場としても、立ち直り支援の重要性を認識しており、今後、更に充実させるためにも、対象枠を広げるなど、更に活性化していただきたい。」旨、発言があった。

(2) 有害鳥獣駆除中における猟銃事故防止対策について

生活安全部長から、令和4年6月11日、綾部市で発生した猟銃の誤射による死亡事案を受け、当府内における過去の猟銃事故、猟銃の許可状況、再発防止対策等について、報告があった。

委員から、「今回の件は、高齢者による誤射事案であるが、猟銃の許可更新時において認知機能検査等は実施するのか。」旨、質問があり、生活安全部長から、「高齢者に対して認知機能検査を実施している。」旨、回答があった。

他の委員から、「猟銃による誤射を防ぐため、どのような指導がされているのか。」旨、質問があり、生活安全部長から、「狩猟者は、蛍光色のベストや帽子を着装する決まりになっているほか、銃の発射方向には立たないよう指導を徹底している。」旨、回答があった。

更に他の委員から、「有害鳥獣が増える一方、猟友会メンバーが減少・高齢化している中で、今後、より安全に有害鳥獣を駆除できるよう、十分な指導を願いたい。」旨、発言があった。

(3) 府民協働防犯ステーションの活動について

地域部長から、地域のボランティアや自治会等が、交番・駐在所の警察官と協働することにより、安全・安心なまちづくりに取り組むことを目的に設置された府民協働防犯ステーションの設置経緯、設置状況、活動状況等について、報告があった。

委員から、「ボランティアの確保が難しい中、府民協働防犯ステーション活動を活性化していただきたい。」旨、発言があった。

(4) 第26回参議院議員通常選挙違反取締本部の設置について

刑事部長から、令和4年6月16日、第26回参議院議員通常選挙違反取締本部を警察本部及び府下25警察署に設置した旨、報告があった。

(5) 特定抗争指定暴力団の指定期限の延長について

刑事部長から、指定暴力団六代目山口組及び指定暴力団神戸山口組を特定抗争指定暴力団として指定期限を延長する必要性について説明があり、審議の上、延長を決定した。

(6) 交通安全ワークシートの作成について

交通部長から、コロナ禍により警察による対面での交通安全教育が制限される中、現在活用中の交通安全教育動画と関連付けたワークシートを作成し、子供に対する交通安全教育の充実を図る旨、報告があった。

委員から、「今日、通学中の小学生の何人かが横断歩道を手を上げて横断しているのを認めた。また最近、横断歩道手前で車両が停止する状況も見られるようになり、警察の施策等が実を結び、少しずつ合図横断が浸透していることを実感した。」旨、発言があった。

(7) 追加報告

職員のコロナ感染状況について

警務部長から、前回報告以降の京都府警察職員のコロナ感染状況について報告があった。

(8) 監察案件1件

首席監察官から、監察案件1件について報告があった。

(9) 刑事部長挨拶

刑事部長から、「当府警察では、10箇月という短期間であったが、様々な事件を通じて良い経験ができ、気持ちよく仕事ができる。また、公安委員の皆様からは、府民目線での適切な御指導をいただき、大変勉強になった。今後とも、当府警察に変わらぬ御指導を賜りたい。」旨、発言があった。

(10) 本部長総括

本部長から、「本日、第26回参議院議員通常選挙違反取締本部を立ち上げた。本選挙にあたっては、不偏不党・厳正公平な立場を堅持するとともに適正な違反取締を推進し、悪質な違反に対しては、徹底した取締を推進してまいりたい。」旨、発言があった。

3 個別報告

当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。

4 個別決裁

(1) 京都府公安委員会に対する審査請求の裁決について

監察官室訟務官から、運転免許の更新処分を受けた者（2件2名）から、原処分を不服として審査請求がなされたことに伴い、審査請求の趣旨、理由、原処分の内容等について説明があり、審議の上、審査請求の棄却を決定した。

(2) 警察署協議会委員の委嘱替えについて

広報応接課担当補佐から、府下3警察署において、警察署協議会員3名の委嘱上申がなされている旨、説明があり、審議の上、決定した。

(3) 公安委員会宛て苦情等申出について（受理1件）

公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛ての苦情等申出に関して説明があり、審議の上、処理方針を決定した。

5 聴聞等

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、6件の行政処分を審議した。